

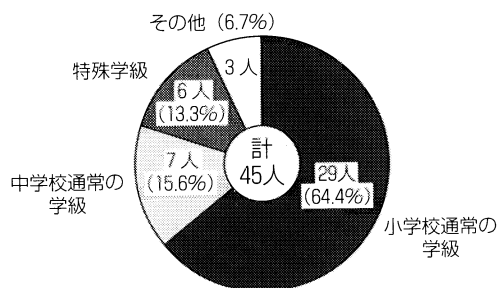
表2 情緒障害の相談件数

年度	平5	平6	平7	平8	平9
不登校	79	85	84	76	73
学習障害等	25	34	31	27	45
自閉症	28	29	21	14	16
緘黙	12	13	5	4	5
その他	14	12	19	35	19
計	158	173	160	156	158

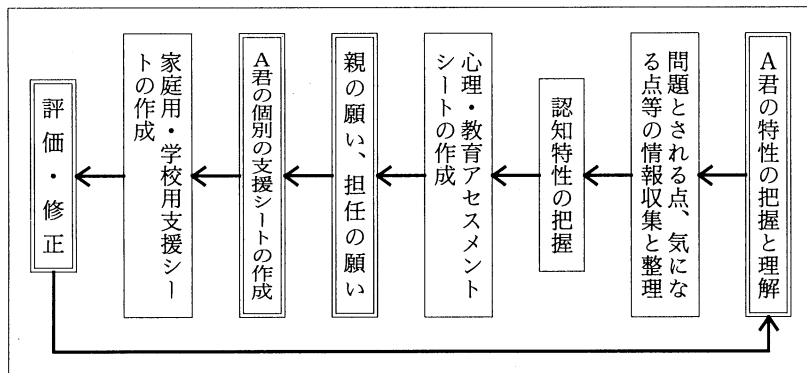
表1 障害別の相談件数

年度	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9
視覚障害	2	3	9	11	11	3	9	4	3	0	5	4
聴覚障害	25	29	17	19	21	14	13	9	12	5	2	3
精神薄弱	51	39	58	71	69	74	78	85	78	82	63	70
肢体不自由	13	15	27	22	19	12	29	25	24	13	18	20
病弱・虚弱	4	3	10	2	3	3	2	3	5	6	4	4
言語障害	8	15	8	10	19	18	15	26	14	13	21	24
情緒障害	28	38	87	125	151	151	126	158	173	160	156	158
重複障害	6	4	10	8	3	6	8	17	22	10	2	3
その他	12	4	27	17	33	17	13	7	11	13	9	21
計	149	150	253	285	329	298	293	334	342	302	280	307

図2 平成9年度学習障害児(LD)等の在籍学級別相談件数



学校の通常の学級で学んでいます
が、学習上のつまづきや困難、行動
上の問題による集団生活への不適
応があり、学級担任はその指導に
課題を抱え、具体的な対応策に苦
慮しているのが現状です。(図2)
このような状況の中で、学習障
害児等の教育相談では、通常の学
級における支援の在り方や家庭と
学校との連携の在り方を考えてい
く必要があります。そこで、養護
教育センターでは、個別の「支援
シート」で一人一人の特性を把握
し、保護者や学級担任と個に応じ
た対応について話し合っています。



六 個別の「支援シート」を
活用した教育相談

まず始めに、子供の状態像を明
らかにするために、家庭や学校に
おける子供の状態について情報を
収集し、「心理・教育アセスメント
シート」に整理します。

その後、「心理・教育アセスメン
トシート」を分析し、保護者や学
級担任の願いに添って個別の指導
や配慮を検討し、「支援シート」を
作成します。その際、次のような
点に留意する必要があります。

- 本人の学習上の困難の状
態に応じた課題の指示、学習
環境の工夫等により学習に落
ち着いて取り組めるように
する。
- 同時に多くの課題を解決し
ようとせず、一つ一つ解決で
きるように、本人が達成可能
な課題を段階的に設定する。
- 長所や得意な面を伸ばすこ
とにより、弱い面や不得意な
面の改善への意欲を高めるよ
うにする。
- 主体的に活動できる場の設
定や意欲の喚起に努め、成就
感や達成感を味わうことがで
きるようにする。
- 自信をもって行動できるよ
うに、本人の能力を認め、ほ
める場面を多くする。
- 学級担任が本人の良い点を
他の子供の前でほめることな
どを通して、本人を認め、受